

平成29年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見・要望

番号	会場	意見の内容	担当委員会	担当委員会の方針
1	浅科	都市計画のタウンミーティングに参加したが現実的でない。公共施設が集約される中で古いものは壊されていく。都市計画の大きなくくりにならないと思う。合併以来旧佐久市は良いが周辺の浅科地区に税が使われていない気がする。都市計画については総論賛成だが、各論は反対になる。もう少し浅科に目を向けて。浅科支所も古くなっている。避難所の指定があるが機能しなくなるのが心配だ。	総務文教委員会	B
2	浅科	浅科支所が出張所にならないか心配している。事務効率や経済効果を考えるといいが、支所機能は残すべき。地域のきずなの形成や地域の持っている良さを継承するためにも必要だ。人口減少になるから仕方ないと物理的な一面を見るだけでなく人間を大切にしなければならない。	総務文教委員会	B
3	臼田	ヘルシーテラス佐久南にハウス栽培施設を設置して一年中果実が採れるようにしたらどうか 例えばイチゴとか	総務文教委員会	B
4	浅科	浅科の学校給食はおいしい地元米（五郎兵米）も取り入れ素晴らしい。地産、地消の成功例だ。もっと広くアピールを。	総務文教委員会	B
5	浅間	NPO法人キッズドリームとして子育て支援を行っているが、佐久市は行動が小諸市などの他の市と比較して活動がにぶい。子どもの居場所作り、子ども食堂、貧困対策、ひきこもり、不登校問題など、もっと議会は取り組んでほしい。佐久市は、子育て支援と言っているが良くない。	総務文教委員会	B
6	臼田	学校給食センター化、臼田地区小学校統合計画など審議会方針（結論）が優先され、後からいくら議論しても全く反映されず、むなし。	総務文教委員会	B
7	臼田	学校の統廃合の議論等、結論ありきではなく、幅広い意見を出し合える、自由闊達な議論の場を作って欲しい。	総務文教委員会	B
8	臼田	臼田の小学校統合が少子化を進めているのではないか	総務文教委員会	B
9	臼田	議員、教育委員とも、教育基本法をもっと勉強して欲しい。（学力の向上は謳われていない）	総務文教委員会	B
10	望月	文化振興が遅れているので、前進させていただきたい。	総務文教委員会	B
11	野沢	佐久市は自然が豊かで景色も良く水が美味しく医療体制が充実していて良い。	総務文教委員会	B

平成29年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見・要望

番号	会場	意見の内容	担当委員会	担当委員会の方針
12	臼田	気候が安定していて住みよい	総務文教委員会	B
13	浅科	よそから移住して佐久市は良いところと、しみじみ思う。市民も行政も、もっと自信をもって行くべきだ。自虐的にならず佐久市の良さを強調できるよう市民が努力すべき。少子化対策にもつながってゆく。	総務文教委員会	B
14	浅科	浅科地区に居住し市中心部に通勤する者も増えている。もっと行政の光を当てるべきだ。	総務文教委員会	B
15	望月	佐久市は、地震、台風等の自然災害が少ない地であること。	総務文教委員会	B
16	望月	佐久市の良いところを掘り起こし、学びあうことが大切ではないか。	総務文教委員会	B
17	望月	佐久市は景観が素晴らしい、隣り近所の方々が親切である。	総務文教委員会	B
18	望月	地区外の人に対して「よそ者」との見方が強い、時代に適さないものは変えることが大切ではないか。	総務文教委員会	B
19	浅科	佐久市は医療制度が充実しているところ。県内でもNo.1である。これに独自性を持たせて拠点整備をしたらいかがか？	総務文教委員会	B
20	浅科	岩村田周辺に開発が一極集中している。山間地は取り残され感がある。周辺部にも必要な施設を作ってもらえば、地域が潤い交流人口も増え、地域の繁栄につながる。	総務文教委員会	B
21	浅科	合併当時は学校建設など投資が多かった。旧佐久市が発展しているように思われる。周辺部の発展が必要となる。バランスのある発展が望ましいが難しいことと理解している。しかし市内のバランスの良い発展を考えてほしい。	総務文教委員会	B
22	浅間	佐久平の発展には疑問もあるが、まず地元の方々が何を望むのかが大事。	総務文教委員会	B
23	浅間	五稜郭はいい	総務文教委員会	B
24	浅間	2025年問題をもっと議題にしてほしい。真剣に議論をすぐやらないと大問題となる。国保と同じようになってしまう。最重要問題である。元気な高齢者が佐久市には、多くいるので助け合いをしていかないとダメである。	総務文教委員会	A
25	野沢	医療特区を佐久市にも。	総務文教委員会	B
26	臼田	食は生命の基本。様々なやり方があってよいはず。行政の位置づけをしっかりと持つべき。	総務文教委員会	B

平成29年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見・要望

番号	会場	意見の内容	担当委員会	担当委員会の方針
27	浅科	佐久平周辺の活性化にばかり肩入れしている。当地域への予算配分はどうなっているのか。道路の改修工事も、バラバラ方式で一向にはかどらない。あまりに効率が悪いやり方だ。	総務文教委員会	B
28	浅科	安心、安全、住みよい佐久市へ。消防車が入れない地域もある。身近な生活道路整備にもっと努力を。佐久平中心の開発で中山間地は置き去りにされて、しなびる一方にあると思う。全体を見渡した行政を進めるべきだ。税金を市民に対して均等に使ってほしい。	総務文教委員会	B
29	浅科	納屋などの固定資産税の取り立てが強化されて困惑している。農業では食えず、荒廃農地が増え、年金は減らされる。消防団もない地域になってしまう危機感がある。中山間地域を維持してゆくための「特別対策チーム」を、議会と行政と一体で作るべきだ。市のマスタープランにはうまいことが書いてあるが、実効ある方策を示すべきだ。	総務文教委員会	B
30	望月	市内へ企業誘致を進め、雇用の確保を図ることが大切である。	総務文教委員会	B
31	浅間	佐久市の人口は増えているように見えるが、望月等の郊外から中心地に人口が移動しているだけ。	総務文教委員会	B
32	野沢	特区を利用して、医療関連の学校を作り、東南アジア、アフリカから、学生を受け入れる。地域の人たちには、ホームステイを協力してもらおうというような構想はどうか。	総務文教委員会	B
33	野沢	誘致する企業の分野をもっと絞るべき。医療、ITなど。地元の起業家育成にも力を入れ、子どもが帰ってこられる町づくりを。それには仕事が必要だが、法人税が伸びていない。県外資本だけでなく、地場産業、地元企業の振興に力を入れなければ。佐久には、佐久医療センターという全国レベルのすごい病院がある。予防医療の先進地でもある。そういう武器を活かさなければ。	総務文教委員会	B
34	臼田	少子化の流れは必ず回復する。家族制度のあり方に問題あり。町のシャッター街化は時代に必要がなくなってきた現れ。町の核づくりを発展させ、循環を広げてゆく方向でよい。	総務文教委員会	B
35	浅間	佐久市だけが生き残るのは無理なこと。小諸市や軽井沢町など近隣と一緒に生き残るにはどうしたらいいのか、地域間・広域連携で考えるべき。	総務文教委員会	B
36	浅間	都会にはない子育て環境がある。収入と暮らしやすさは＝（イコール）ではない。	総務文教委員会	B
37	浅間	都会型ばかりでない、田舎の良さ、空気、水の良さは絶対。そこに一定の収入があれば良い。	総務文教委員会	B
38	野沢	佐久市中心部はインフラが進んでいて良いと思いますが、内山地区の山間地は、インフラが遅れていて下水道の通る予定も無く、高速インターネットの環境進んでいない	総務文教委員会	B

平成29年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見・要望

番号	会場	意見の内容	担当委員会	担当委員会の方針
39	野沢	山間地でも光回線の環境を行政で整えて貰いたい。今、インターネットが当たり前の時代で他に移住したい仲間に関心がないので、勧められない。	総務文教委員会	B
40	望月	望月高校出身者の井出氏がアニメに関わっているの、佐久市のPRをお願いしたらどうか。	総務文教委員会	B
41	望月	望月にも「サポートセンター」の支所がほしい。	総務文教委員会	B
42	浅間	天気予報は軽井沢町が出るが佐久市が出ないので出して欲しい	総務文教委員会	A
43	浅間	佐久市のホームページをネットで見れない人にも違う方法でアピールして欲しい	総務文教委員会	B
44	アンケート	佐久市のインターネットサイトを充実、更新を速くしてください。	総務文教委員会	A
45	野沢	防災無線の放送が大雨の時、聞きにくい。	総務文教委員会	A
46	野沢	防災無線にプラス屋内でも聞こえる有線放送等の機器が欲しい。	総務文教委員会	A
47	浅科	浅科地区は災害指定区域が多い。住民の不安も大きい。人口増の傾向にあるが住み続けられる環境維持、整備をしっかりとやってほしい。地道な積み上げが大事だ。	総務文教委員会	B
48	浅科	空き家の台風などでの被害、災害時の対応策はどうなっているのか。	総務文教委員会	A
49	望月	現在消防団員は、出初式の日には、はっぴ着用の飲酒（振る舞い酒）は禁止されているが、はっぴ着用での飲酒は別に問題ないのでは？	総務文教委員会	B
50	浅間	行政無線放送が聞こえないところがあるので直して欲しい	総務文教委員会	A
51	臼田	国保の値上がりや少子高齢化は今後大きな不安。お金のバラマキでは解決しない。若者の働く場の確保、子育て支援などもっと旺盛にやってほしい。	総務文教委員会	B
52	野沢	要望は区長に依頼する事に疑問視します。	総務文教委員会	B
53	野沢	今、主な依頼は区長に集中しているが、行政に直接依頼ができる窓口を作りたい。	総務文教委員会	B
54	浅科	区要望を出すのが新・継続と、先日回答があった。予算配分が少ないから仕方ないが、合併当初のとおり支所で使える予算の編成方法ができればいい。要望が多いわりになかなか実施してもらえない。	総務文教委員会	B

平成29年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見・要望

番号	会場	意見の内容	担当委員会	担当委員会の方針
55	望月	市の職員人事は年功序列はやめた方が良く、若くても優秀な人材の登用をしてほしい。	総務文教委員会	B
56	野沢	非正規と正規の給料の格差が大きく、非正規が多いことが少子化を進めているのではないか。その是正に取り組むべきである。	総務文教委員会	B
57	臼田	家族制度の見直しが大事	総務文教委員会	B
58	浅間	都会化すればいいのではない。佐久の自然にひかれた移住者も多い。収入が少なくても生きていけるコミュニティがあれば、何とか生活できる。学校統合は少子化を進めるもの。	総務文教委員会	B
59	浅間	高齢一人暮らしが増え、心配している。災害対応も含め、地域コミュニティを大事に日頃からの声をかけやすい関係を築いておくことが大事。	総務文教委員会	A
60	望月	望月高校存続の問題については、当事者の子供が一番困るので、3月結論では遅すぎ。高校がなくなれば、益々過疎に拍車がかかり、地域は衰退してしまう。	総務文教委員会	B
61	望月	望月高校の存続の現状及び対応はどうなっているか、20年前から学級の定員数を減らすよう働きかけて来たが、実行されず現在に至っている。公立高校再編の2回目の説明会でも、地域の思いに答えていない。県教委の40人学級の分母の固定が問題ではないか。	総務文教委員会	B
62	望月	高校は地域の文化であるので残すべきだ。高校再編の説明内容がまったくわからない、内容が見える説明がほしい。	総務文教委員会	B
63	望月	望月高校の存続問題は、30～50年後に市内のどの高校でも該当してくるので、本当に残したいのなら、私立高校とし民間経営でも良いのではないか	総務文教委員会	B
64	浅間	子育て支援の中で高校生にスポットを当ててほしい。中学校までは、市も議員議会も力をいれているが、高校生に対しての支援がされていない。高校生でも、大事な佐久市の子どもである。	総務文教委員会	A
65	臼田	武道館の予算総額について	総務文教委員会	B
66	臼田	小学校統合問題は、「一校ありき」だけで進むのではなく、校区の検討もされるべきだ。今後も幅広い議論の場を持つようにしてほしい、という意見	総務文教委員会	B

平成29年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見・要望

番号	会場	意見の内容	担当委員会	担当委員会の方針
67	臼田	学校給食の民間委託、小学校の英語教育強化、望月高校廃止の流れ・・・市民への情報提供をもっとすべきではないか、という意見	総務文教委員会	B
68	臼田	佐久市の財政は豊かだというが。県立武道館、樋橋地区の開発、野球場建設等、当初予算の倍くらいになるはずだ。市民の立場から将来への疑問が多い。情報公開し慎重に行うこと、という意見。	総務文教委員会	B
69	浅科	4億円の寄付。4年制大学生に限るのか。家庭の実態に合わせ短大生などにも適用を。4年制卒業者は市外に出てしまうものが多いのでは。	総務文教委員会	B
70	浅科	岩村田小学校の増改築。児童数減少社会の中で、クラスの35人以下、以上の仕切り方は見直すべきだ。もっとゆとりが必要だ。佐久市の子供優先で対応をしてほしい。	総務文教委員会	B
71	野沢	下松の視察について、職員や市民の意識が高いとのことだったが、仕事のやり方も従来と大幅に変えているはず。佐久市でも新しいやり方にトライし、臨機応変に対応して行ってほしい。	総務文教委員会	A
72	浅科	SAKU奨学金について4億円を子供たちの基金にするのは十分である。 給付の内容として4年制の大学生だけなのか？短大や各種学校まで広げられないか。 寄付者の意向もあると思うが、4年制大額を卒業するとなかなか故郷に帰らない学生が多い気がする。 短大とか専門学校卒業生は故郷に帰って佐久市を支えてくれる気がするがいかが。	総務文教委員会	B
73	浅科	岩村田小学校の改築だがこれから児童が少なくなるが振り分けを少なくなる所へ学区を変更できないか？浅科も少子化になっている。小学校や中学校に空き教室もある。35人学級だが、下回ると一クラスなくなってしまい教員数も減ってしまう。	総務文教委員会	B